

授業科目

介護実習II

担当教員名 吉田 輝美、白野 絹子	対象学年	2	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	4	時間数	180

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

実習施設において約1か月の実習を行う。これまでの実習より大幅に長期となることから、利用者や職員との人間関係が密となり、学ぶことも多くなる。この実習では、初めて夜間勤務を体験するとともに、個別介護援助計画を作成、実施、評価などを行い介護福祉士としてのトータル的な介護の知識・技術を実践する。

授業の目的

個別ケアをおこなうために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確化するための利用者ごとの介護計画を作成し、実施後の評価を行う。さらに評価後の計画の修正といった介護過程を展開し、他科目で学んだ知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。

学習目標

- 1 個別ケアをおこなうための個々の生活リズムや個性を実践の中で理解することができる。
- 2 利用者の課題を明確にするためのアセスメントを行い、介護計画の作成、実施、その後の評価を行い、継続、再アセスメント等による介護計画の修正という一連の介護過程が展開できる。
- 3 他科目で学習した知識や技術を統合して、具体的な介護サービスの基本となる実践力を習得する。
- 4 夜勤をおこない24時間の利用者の生活を知る。

授業計画

授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
・特別養護老人ホームや老人保健施設、障害者支援施設での実習を4週間程度、上記目標に沿って行う。	施設実習	白野 絹子、吉田 輝美
・期間：2月、3月	施設実習	白野 絹子、吉田 輝美
・施設運営のプログラムに参加し、サービス全体について理解するとともに	施設実習	白野 絹子、吉田 輝美
個別の介護過程の展開、記録の方法について学び、チームの一員として	施設実習	白野 絹子、吉田 輝美
介護を遂行できるよう現任準備訓練を行う。	施設実習	白野 絹子、吉田 輝美
・夜勤介護のプログラムへ参加する。	施設実習	白野 絹子、吉田 輝美

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

実習記録・レポート

履修上の留意点

実習は施設の実習指導者の指導のもと進められる。

オフィスアワー・連絡先

相談や質問がある場合連絡先 shirono@nuhw.ac.jp